

畑田地区では、「畑田地区ってどんなところ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回（1回目は、令和5年10月3日（火）に実施）のワークショップを実施しています。令和5年11月6日（月）に開催した第2回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークと1つのミニ講座を行いました。



第2回 実施概要

日 時：2023.11.6（月）
19:00～21:00

会 場：畑田コミュニティセンター
参加者数：13人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：色紙ゲーム（アイスブレイク）・グループ分け
- 3：参加者自己紹介
- 4：ワーク①：テーマごとに前回出た意見を振り返ろう！
- 5：ミニ講座「他の地域ではどんなことをして、魅力を伸ばしているの？」
- 6：ワーク②：いいな！やってみよう！できそう！と思ったことを話し合おう
- 7：グループ発表（全体共有）



ワーク 1 テーマごとに前回出た意見を振り返ろう！

1回目のWSより出た意見を下記記載の4つのテーマに分類し、参加者の関心のあるテーマごとにグループに分かれ、意見交換を行いました。ワーク1ではテーマに関する畑田地区の魅力と課題、さらには将来像についても意見を出し合いました。各グループでWSの1回目に出た意見も踏まえながら、テーマに関する現在の状況などを共有しました。それぞれの意見を模造紙や地図に付箋もしくは、直接ペンで書き込んでいき、模造紙はたくさんのアイディアで埋め尽くされました。

テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④
若い人が参加しやすい組織づくり	魅力ある行事等の企画・実施	みんなで交流する場・機会の創出	災害に強い地域をつくる

ミニ講座 他地域ではどんなことをして、魅力を伸ばしているの??

ミニ講座では、4つのテーマの参考になる他地域での「参加を呼び掛ける」「場をより楽しくする」「活動を持続やすくする」「災害に強い地域にする」ためのアイデアについて学びました。負担の少ない方法での取組みの実施方法や学生と協力してイベントを行っている事例、参加したくなるような仕組みづくりを行っている事例など、茨木市や他市で行われているちょっとした工夫について学べる良い機会になりました。

ワーク 2 いいな！ やってみたい！ できそう！ と思ったことを話し合おう

ワーク2では、講座を踏まえて、ワーク1で出し合ったテーマに関する「魅力」はさらにのびし、「課題」は改善でき、「将来こうなったらいいな」という意見に近づけるような、「いいな！」「やってみたい！」「これならできそう！」と思えたことを話し合いました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	ワーク1の主な意見			ワーク2の主な意見
	魅力	課題	将来	やってみたい！等と思ったこと
若い人が参加しやすい組織づくり	○コロナ後の地域活動はゼロベースでリスタートしている状況のため、新しいことができる！ ○若い人も何かあれば集まりたい！	○行事を盛り上げる自治会になってない？ ○名前を知らない人もいます ○仕事と家庭の間に地域活動が難しい ○若い人の参加が続かない	○参加しやすいよう集まりの開始時間を20時スタートにする ○行事ありきではなく、何のためにという目的を明確に ○子どもの頃から自治会活動に参加する仕組み	○自治会という名前はやめて、楽しい「〇〇会」 ○集まるきっかけがゆるい方が集まりやすい ○情報の伝え方も工夫する ○共有だけでなくコミュニケーションの場としてオンラインをつかう
魅力ある行事等の企画・実施	○様々な行事を既に行っている（グランドゴルフ大会・ポッチャなど）	○日程の調整、時期を見直す必要がある ○暑い時に準備が大変 ○準備をする人手を集める方法（特に土日）を工夫する必要がある	○畑田といえば「ポッチャ」「グランドゴルフ」といったイメージを定着させる ○子供達の思い出になる行事の企画・実施 ○市内どこもやっていない企画を一番のりで！ ○ふれあい祭りの開催時期を変更！	○畑田ならではのつくる（畑田バーガーや手抜きうどんのPR） ○文化展開催期間中にスポーツイベント実施！ ○映画鑑賞会の実施（親子参加） ○弁天さんを活用したウォークラリーや松ぼっくり拾い
みんなで交流する場・機会の創出	○交流する場はある ○子育てサロンや75歳以上単身高齢者の食事会など	○様々な人が自由に参加しづらい ○いつもメンバーが一緒になっている。 ○横のつながりが少ない	○誰がやるか/資金はどこから確保できるかという課題を解決する必要がある	○ウォークラリーやわんわんパトロールなどできることからやってみる ○大学生との連携を試みる
災害に強い地域をつくる	○パトロールには若い人も参加する ○自主防では、火事対策、避難所運営マニュアルなどを行っている	○高齢化により青パトが終了した ○氾濫や水害の危険性がある ○地域の情報が分からない	○避難所の見直しが必要 ○防犯カメラの設置 ○自治会未加入者への対応をどのようにすればよいか考える必要がある	○わんわんパトロールは楽しそう！ ○特殊詐欺対策を進める必要がある

次回ワークショップは12月7日（木）。今回話し合ったいいな！ やってみたい！ できそう！ を実現するためには何が必要になるか、どうしたら実現できるかを話し合い、実現に向けた準備を行います。